

このたびは、業務用ミキサーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグを  
コンセントから  
抜け

#### 分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



#### 異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



#### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



#### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



#### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。



**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない**

火災・感電の原因となることがあります。



**不安定な場所に置かない**

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



**工事は工事店に依頼する**

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



**異常に温度が高くなる場所に放置しない**

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



**長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

火災の原因となることがあります。



**お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く**

感電の原因となることがあります。



**電源を入れる前には音量を最小にする**

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



**電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない**

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



**長時間音が歪んだ状態で使わない**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



**移動するときは、コード類を傷つけない**

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



**この機器に乗ったり腰掛けたりしない**

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

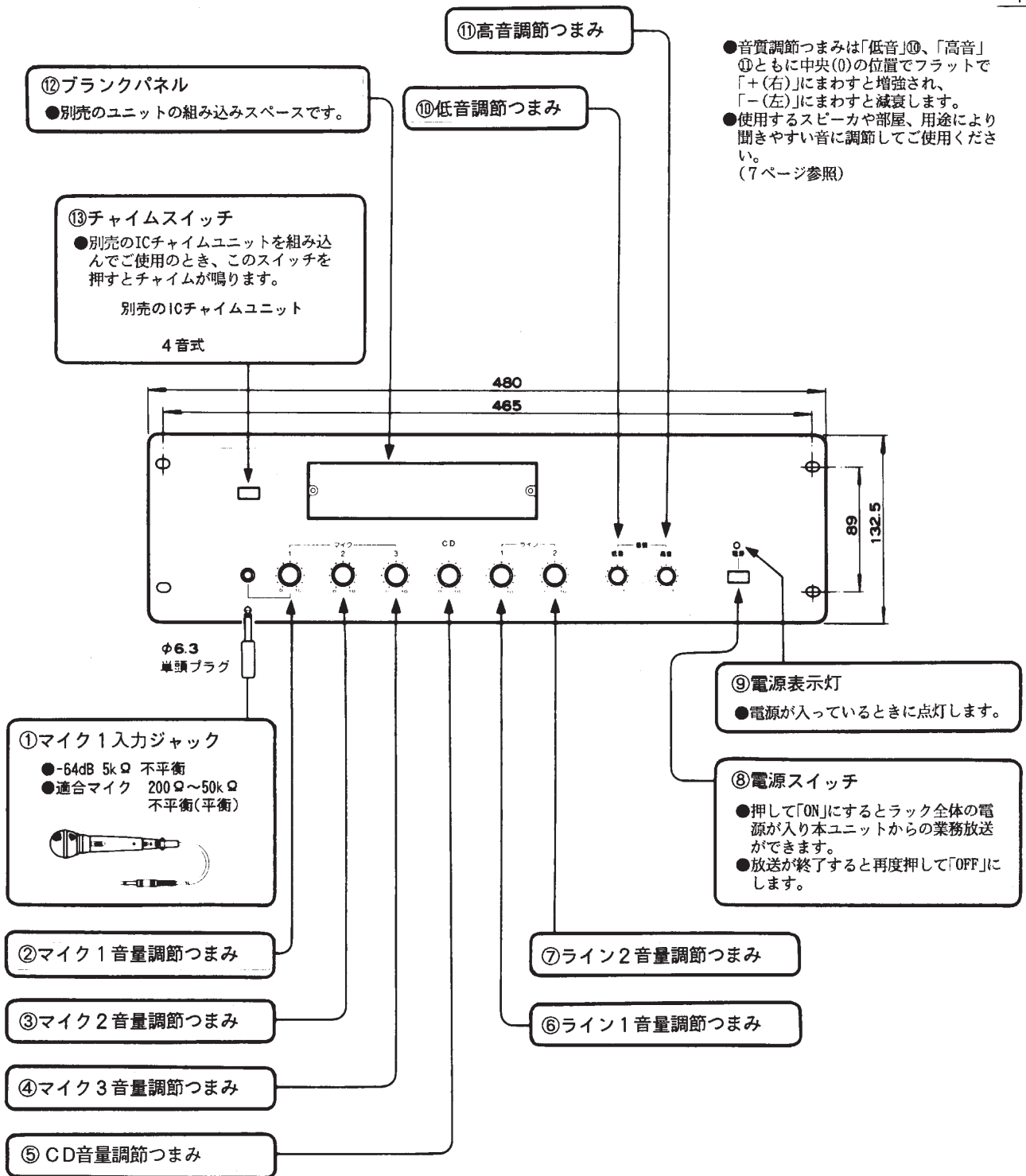


1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



# 各部のなまえとはたらき

単位 mm



## 特にご注意を

■本機を接続して使用できる機器は次のとおりです。

●EL-2000シリーズ、 EL-2001シリーズ

上記以外の機器に組み込んで使用することはできませんのでご注意ください。

■内部の改造は絶対にしないでください。

電気用品安全法にふれることがありますので改造は絶対におやめください。

■ヒューズは指定容量のものを使用してください。

針金や銅線をヒューズのかわりに使用しないでください。また交換するヒューズは指定容量のものを必ずご使用ください。

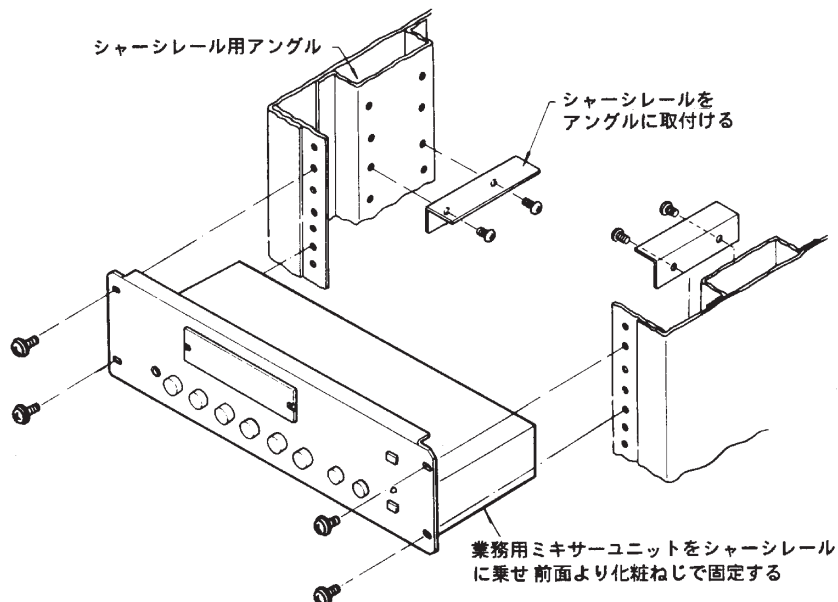
■接続機器のコードは正しく接続し、抜くときには、プラグを持って抜きとるようにしてください。

コードを引っ張るとプラグの中で断線するおそれがあります。

## 設置のしかた

### 取り付けかた

●図のようにラック本体へ取り付けてください。



### ご注意

●本機の取付寸法はEIA寸法となっていますのでJISラックへの取り付けはできません。

### ユニット(別売)の取り付けかた

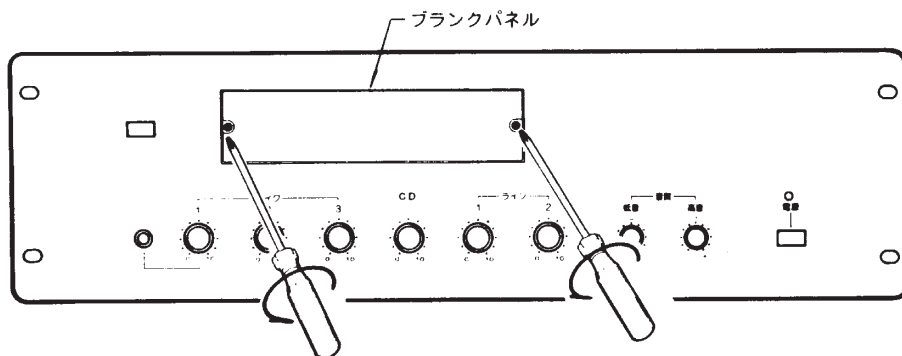
●本機には別売のユニットを組み込んで使用することができます。

組み込み可能なユニットは次の3機種です。

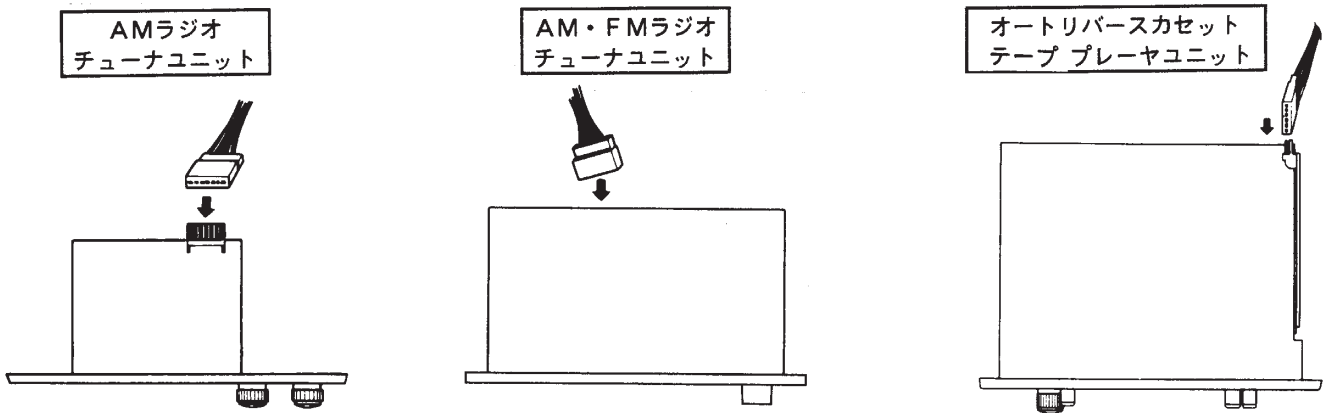
- ①AMラジオチューナユニット
- ②AM・FMラジオチューナユニット
- ③オートリバーカセットテーププレーヤユニット

●取り付けかた

- ①ユニット収納部はblankパネルでカバーされています。このblankパネルを止めているねじ2本をドライバーではずしてください。



② ブランクパネルの裏側に接続コードが止めてあります。接続コードをブランクパネルからはずし、先端のコネクタ(7P)をユニットのコネクタにしっかりとさしこみ接続してください。



③ 接続し終わりましたらユニットを本体のユニット収納部にさしこみパネルをねじ2本で本体に固定してください。

**ご注意** ● 収納するとき接続コード、コネクタに無理な力が加わらないようにしてください。

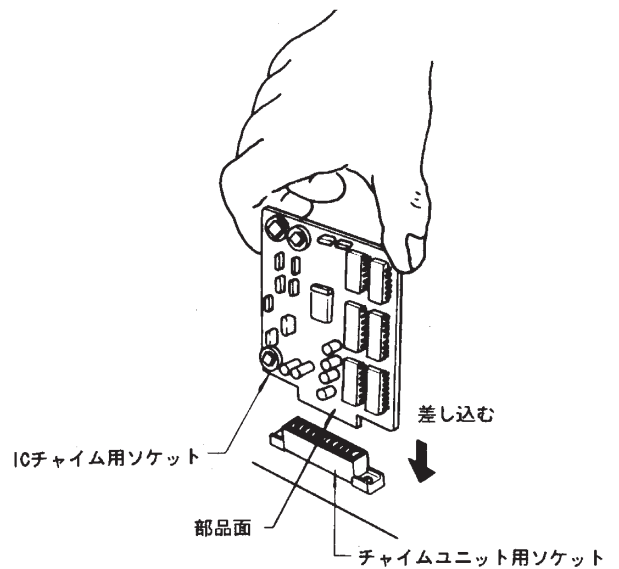
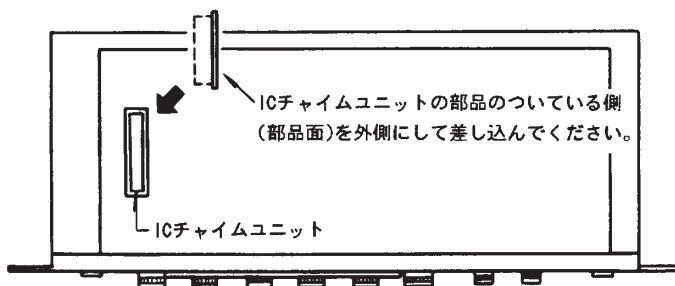
### ICチャイムユニットの取り付けかた

- 別売のICチャイムユニットを組み込み、放送前の予告用として使用できます。
- 内部のチャイム用ソケットに別売のICチャイムユニットをしっかりと差し込んでください。

#### 適合ICチャイムユニット(4音式)

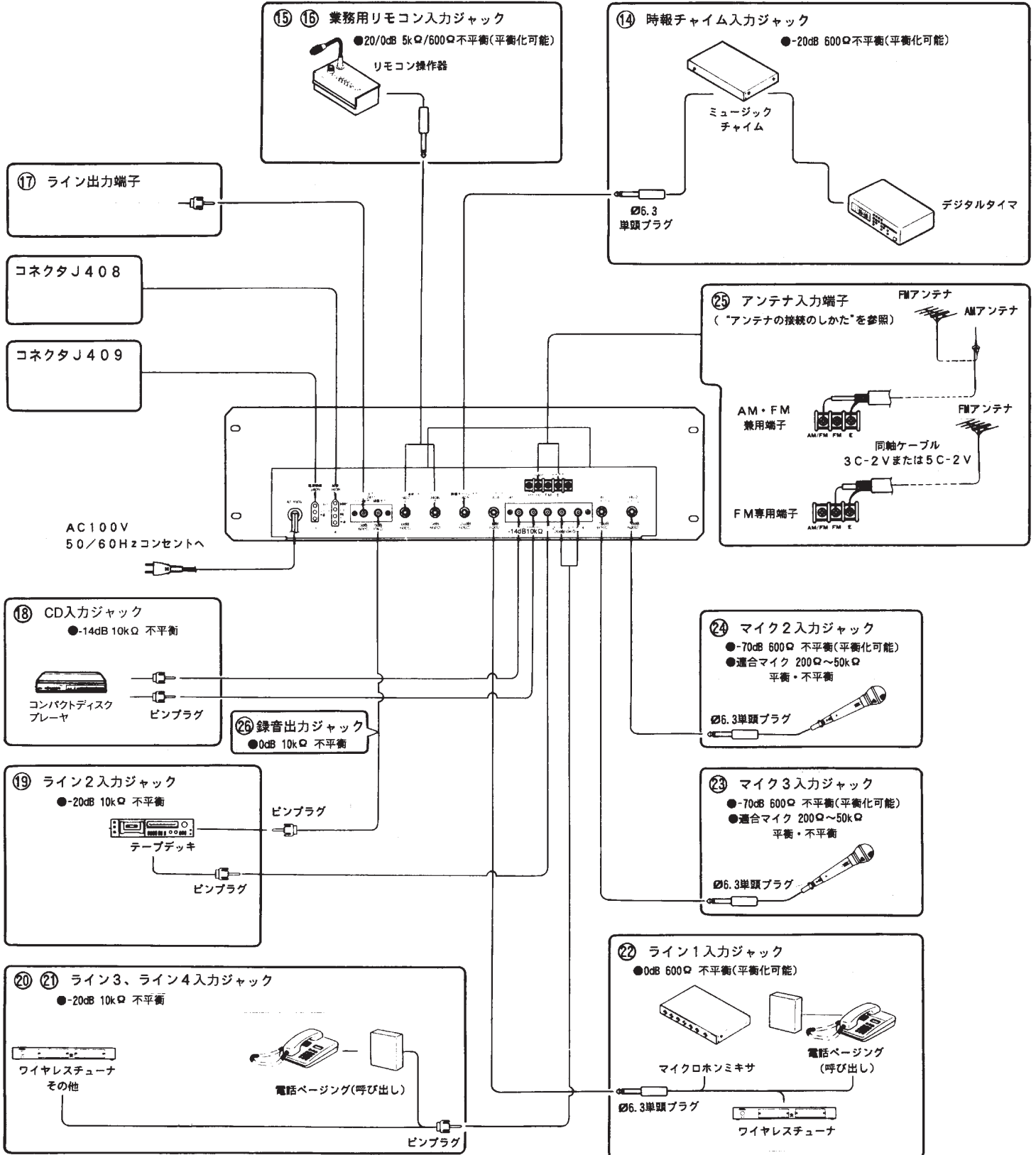
- ICチャイムユニットに付属のシール「ICチャイム」をスイッチの下に貼りつけてご使用ください。

**ご注意** ユニットのソケットに差し込むとき方向にご注意ください。



## 接続のしかた

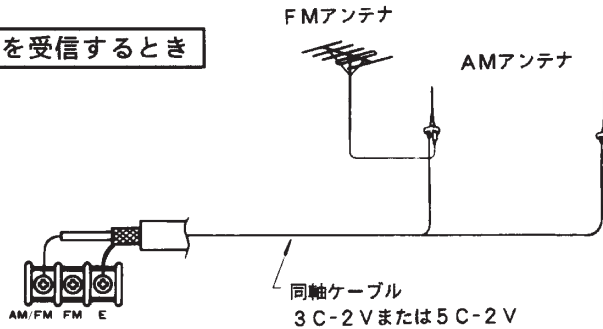
- 本機にはマイクロホン、時報チャイム、CDプレーヤ、テープデッキ、業務リモコンなど、業務放送用として使用する機器が接続できます。
- 下図に従って接続してください。



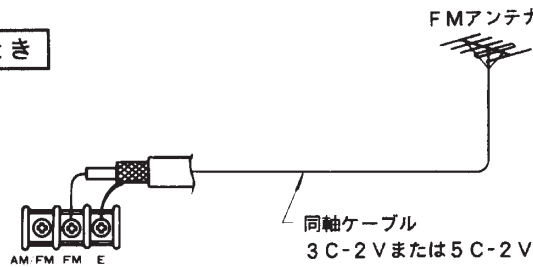
## アンテナの接続のしかた

- ラジオチューナユニットを組み込んでご使用のときは受信用の外部アンテナが必要です。背面のアンテナ端子(25)にラジオ用アンテナを接続してください。

### AMのみまたはAMとFMを受信するとき



### FMのみ受信するとき

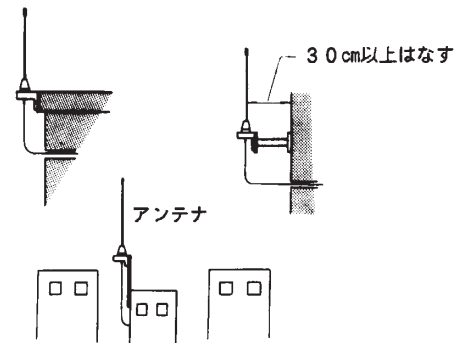


## 外部アンテナの設置、配線についてのご注意

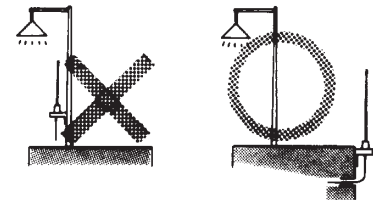
良好に受信し、外来ノイズの影響を受けないため下記の記事に注意してください。

### ①見通しのよいところに設置してください。

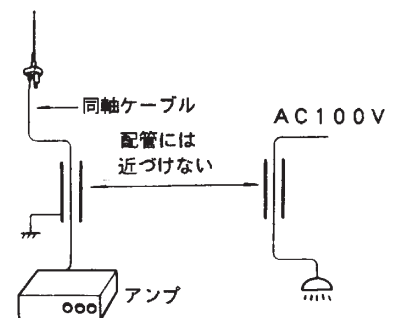
- 壁面に取り付けるときは図のようにエレメントを屋上から出すか、やむを得ず壁面に沿って取り付けるときは壁面より30cm以上離して取り付けてください。(下に向けたり水平にしないでください)
- まわりに高い建物がある場合は図のように見通しのよい高いところに設置してください。



### ②水銀灯や街路灯などからはなるべくはなして設置してください。点灯時雑音の入る原因となります。

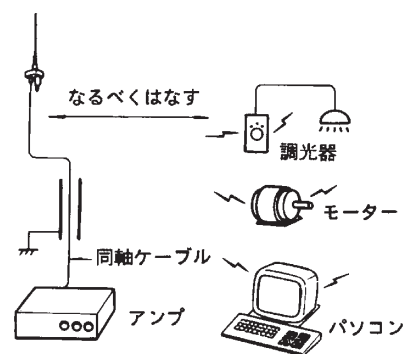


### ③アンテナ線は同軸ケーブルを使用し、AC100Vラインとは別配管にしてください。また配管は必ずアースしてください。



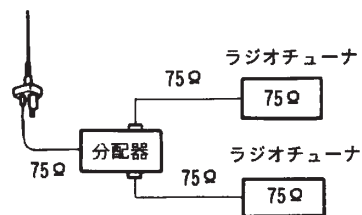
④配管からアンプ(ラジオ)までのアンテナケーブルの配線方法について

- アンテナケーブルは調光器ライン、パソコン、モーターなどのノイズ源の近くを通過しないように配線してください。



⑤アンテナ線を分配するときは必ず、分配器を使用してください。

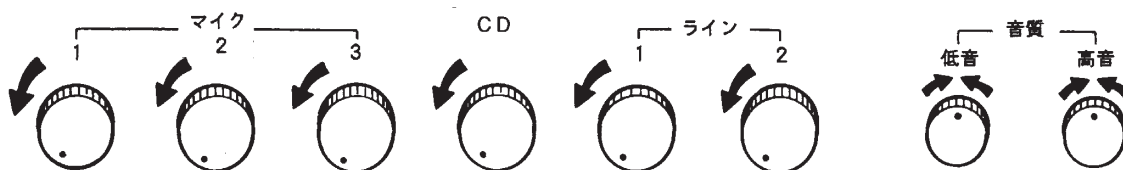
- 分配器はAM・FMの周波数帯域(525~1605kHz, 76~90MHz)で損失の少ないものをご使用ください。



## 使いかた

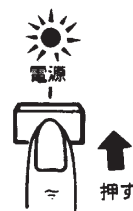
### 1 電源を入れる前に

- 各音量調節つまみは「左いっぱいに絞った」位置に、音質調節つまみは中央の「0」の位置にセットしてください。



### 2 電源スイッチ⑧を押して「入」にします

- 電源が入り電源表示灯⑨が点灯します。
- 電力増幅ユニットの電源も同時に入り電源増幅ユニットの電源表示灯が点灯します。

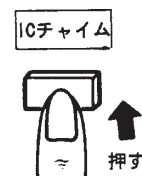


### 3 放送したい場所を選択します

- 階別選択スイッチ、ブロック選択スイッチ、一齐放送スイッチ等で放送したい回線を選択します。(詳しくはラックに付属の取扱説明書をご参照ください)

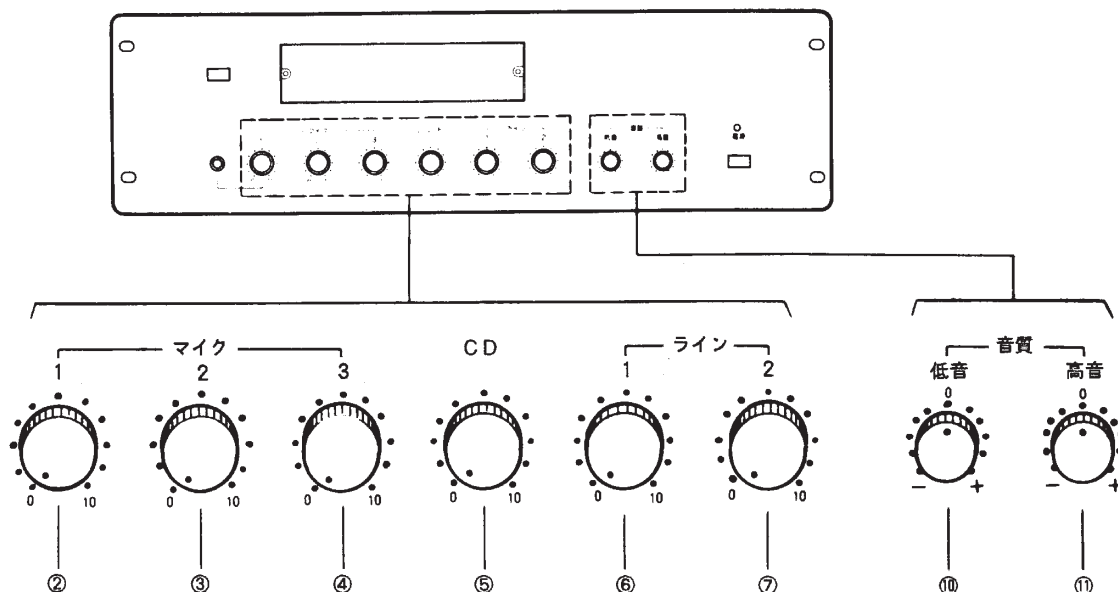
### 4 チャイムユニット(別売)を組み込んでご使用の場合

- チャイムスイッチ⑩を押すと、チャイム音が選択された回線に放送されます。放送前に予告音として使用できます。





5 各音量調節つまみ②～⑦をまわして各入力の音量を調節します

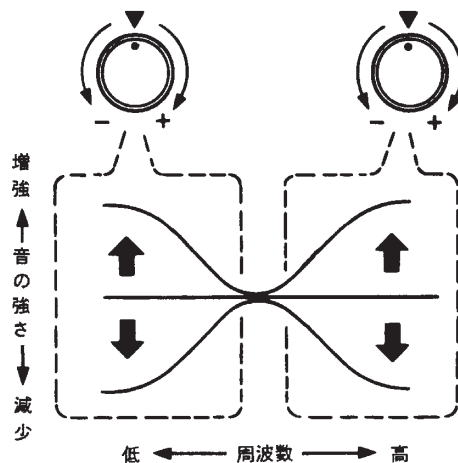


[適切な音量で放送するために]

●非常操作ユニットの放送出力レベル計のふれを見ながら適切な音量に調節してください。

6 音質調節つまみ⑩⑪の使いかた

- 音質調節つまみは「低音」⑩、「高音」⑪ともに「0」（中央）の位置でフラットで「+（右）」にまわすと増強され「-（左）」にまわすと減衰します。
- 次の(1)(2)(3)のように使用するスピーカや部屋、用途に応じて聞きやすい音に調節してご使用ください。
  - (1) キンキンした音で耳ざわりなときは高音を減衰させ低音をやや増強させると聞きやすくなります。
  - (2) 低音がもごついてはっきり聞きとりがくときは低音を減少させ高音をやや増強させると聞きやすくなります。
  - (3) 音楽をお聞きになるときは低音、高音ともやや増強させると迫力のある音になります。



7 放送が終了したら放送先の選択を解除し、本機の電源スイッチ⑧を再度押して「切」にします。

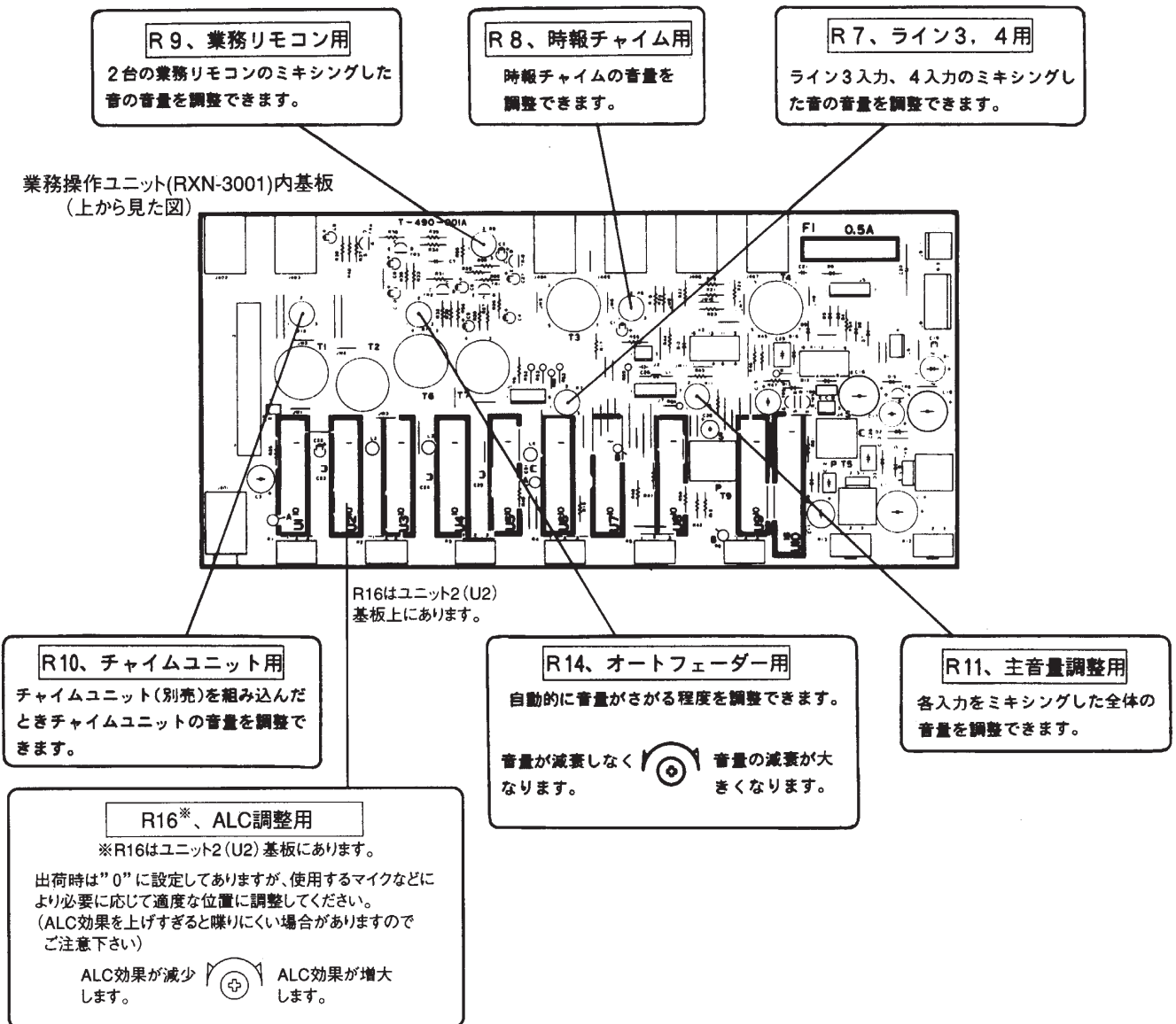
# 調整のしかた

## 音量調整

- ライン3, 4, 時報チャイム、業務リモコンの各入力の音量および別売のチャイムユニットを組み込んだときの音量は内部の半固定ボリュームで調整できます。入力が大きすぎる場合はこの半固定ボリュームで調整してください。
- また各入力を混合(ミキシング)した全体の音量も内部の半固定ボリュームで調整できます。前面のボリュームや内蔵半固定ボリュームで各入力の音量をバランスよく調整できないときにご使用ください。

## オートフェーダーレベルの調整

- CD、ライン2~4、組み込みユニットの音量はマイク1~3、チャイムユニット(別売)に信号が入ると自動的にさがり、信号がなくなると自動的に復帰するオートフェーダー機能を備えています。
- 自動的に音量がさがる程度は内蔵の半固定ボリュームで調整できます。出荷時は最小(音量がさがらないように)設定してあります。オートフェーダー機能をご使用の場合、このボリュームで音量のさがり具合を調整、設定してください。



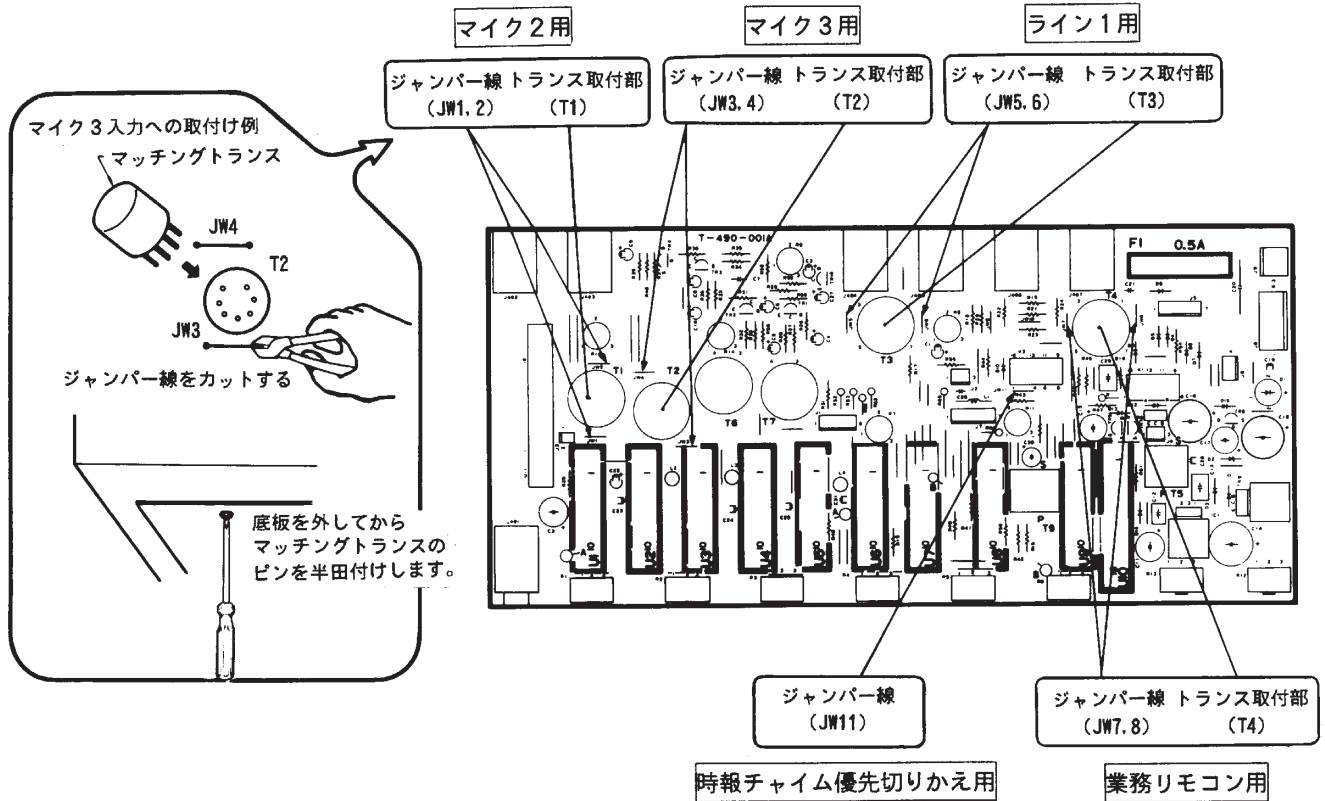
## マイク1のALC効果の調整

- マイク1にはALC(オートレベルコントロール)回路を内蔵しています。出荷時は"0"(ALC効果無し)に設定してありますが、必要に応じて上図の要領で調整してください。

## マイク2.3、業務用リモコン、ライン1入力を平衡入力にするとき

- マイク2.3、業務用リモコン、ライン1入力は不平衡形になっていますが別売のマッチングトランス(形名：FB1342)により平衡回路にすることができます。入力を延長して使用する場合は平衡形出力の機器を使用し、平衡入力としてご使用ください。
- マッチングトランス(形名：FB1342)は下記の手順で取付けてください。

①別売のマッチングトランス(形名：FB1342)を図のように基板に差し込み、半田付した後部品面側のジャンパー線をニッパー等で切断してください。



## 時報チャイムの音声信号の優先切りかえについて

- 時報チャイムの音声信号は業務ミキサーユニット(RXN-3001)内の他の音声信号とミキシングになるよう出荷時設定してあります。
- 時報チャイムの音声信号を優先にしたいときは下図のようにジャンパー線(JW11)をニッパー等でカットしてください。  
時報チャイム放送のときは業務リモコンを除く他の信号はカットされ時報チャイムが優先となります。(業務リモコン放送は時報チャイム放送とミキシングとなります)



## 仕様

使用電源	AC 100V 50/60Hz					
消費電力	6W, 9VA					
入力回路	マイク 1	-64dB	5kΩ	不平衡	S/N 50dB以上	
	マイク 2	-70dB	600Ω	不平衡(平衡可)	S/N 50dB以上	
	マイク 3	-70dB	600Ω	不平衡(平衡可)	S/N 50dB以上	
	C	-14dB	10kΩ	不平衡	S/N 60dB以上	
	チャイム	-20dB	600Ω	不平衡	S/N 60dB以上	
	業務リモコン	20/0dB	5kΩ/600Ω	不平衡(平衡可)	S/N 65dB以上	
	ライン 1	0dB	600Ω	不平衡(平衡可)	S/N 65dB以上	
	ライン 2	-20dB	10kΩ	不平衡	S/N 60dB以上	
	ライン 3	-20dB	10kΩ	不平衡	S/N 60dB以上	
	ライン 4	-20dB	10kΩ	不平衡	S/N 60dB以上	
	ユニット入力	-20dB	10kΩ	不平衡	S/N 60dB以上	
出力回路	VA出力	0dB	600Ω	不平衡		
	録音出力	0dB	10kΩ	不平衡		
ひずみ率	1%以下					
周波数特性	50~15kHz +0dB -3dB以内					
音質調節	100Hz: ±10dB以上 (1kHz基準) 10kHz: ±10dB以上 (1kHz基準)					
塗装色	ブラウングレイ(マンセル10YR4/1 近似色)					
重量	約 3.5kg					
付属品	3極大形単頭プラグ φ6.3 ... 2個、ピンプラグ ... 2個、 両端4Pコネクタ付コード ... 1、両端ピンプラグ付コード ... 1、 ヒューズ(0.5A) ... 1個、取付化粧ねじ ... 4個、 シャーシレール ... 2個、シャーシレール取付ねじ ... 4個、 取扱説明書 ... 1、					

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、ラック本体の主電源スイッチを「切」にし、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときはラック本体の形名、機器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

## 業務用ミキサーユニット RXN-3001 保証書

製造番号			
保証期間	お買い上げ日	平成 年 月 日より	
	電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月		
お客様	お名前	様	
	ご住所 〒		
		電話( )	-
販売店	店名・住所	印	
		電話( )	-

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### 保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### 無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

### 無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
  - ②不当な修理改造による故障、損傷。
  - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
  - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
  - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また盗害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
  - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
  - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

## サポートのご案内

- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。  
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。  
①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

- 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。  
http://www.unipex.co.jp



- その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

## UNI-PEX お客様ご相談センター

**0120-56-5245** (通話料無料)

受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、  
**072-855-3334** (通話料がかかります)

【お客様の個人情報の取り扱いについて】  
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)